

taiju@mvc.biglobe.ne.jp

2018/4/16 午後9時23分

インターネットのホームページ： 再び道具編

宛先 高橋 覚 <qqxy3qx9k@air.ocn.ne.jp>

ファイルをプロバイダのコンピュータ（ホストコンピュータ=主人側のコンピュータ）に送ることで、インターネット上に表示してもらいますが、ファイルをそこに送ったり、そこからファイルを取ってきたりする、データの遣り取りに使うのをftpソフトと呼んでいます。このあたりは僕もシロウトだから、

あまり正確にしゃべれないが、ftpとはファイルを転送するための規格を呼ぶ名前らしい。HPの場合は頭に<http://www.~とか>、<https://www.~とか>が付くファイルが多いけれど、このhttpもそういう（たぶん表示などの）

規格の略称です。ファイル転送には、たいてい専用のソフトウェア（アプリケーション）を使いますが、その代表的なものがある人の作ったFFFTPという名前のフリーソフトで、とても優秀なものです。そのソフトの画面を画像で送るので、イメージを作っておいてください。

左側が自分のコンピュータのファイル一覧で、右側がホストコンピュータ（サーバ）のファイル一覧です。

初めにプロバイダからもらった各種情報（入出力に使う名前=ポート〔港〕番号など）を入力する必要があるけれど、

いったん設定してしまえば、左から右に送るだけでアップロード、右から左に送るだけでダウンロードができます。

すべて該当のファイルを右クリックして出てくるメニューから選ぶだけの操作です。

これを見るだけでも、二つの画面の間でコピー・削除などを行なうことでファイルを移動するのだということが

直感的に理解できるでしょう。実際の仕組みはシロウトにはさっぱり分かりませんが、ファイルを左右に移動できる

ということが「ファイルを転送している。」という意味です。